プレスリリース
Press release

Pacific Voice TOKYO L.A.

発表日：2009年8月3日

米国アカデミー賞公認映画祭 Short Shorts Film Festival が新たに挑戦する

国内最大規模の音楽×映像の融合
『ミュージック Short クリエイティブ部門』 国内公募スタート！

SHORTSHORTS FILM FESTIVAL & ASIA

米国アカデミー賞公認アジア最大級の短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア」（代表：別所哲也、以下、映画祭）は、2010年開催へ向けて、8月1日～、計4部門で作品公募を開始しました。その中でも注目は、国内のレコード会社の協力のもと実現した、新部門「ミュージック Short クリエイティブ部門」です。

各レコード会社から公式にエントリーされた楽曲をテーマ曲として、クリエイターが自由に応募作品を製作できます。製作した作品は、映画祭で上映するだけでなく、株式会社フェイス・ワンダワークス（代表取締役社長： 吉田　眞市、以下、フェイス・ワンダワークス）を販売窓口として、携帯やPCなどの配信コンテンツとして、国内の事業者へ販売します。配信コンテンツから発生した収益は、エントリーしたレコード会社、配信事業者、クリエイターなどへも配分します。

☆続々と参加するアーティスト達！

JYONGRI

泉谷しげる

LOVE PSYCHEDELICO

THE BACK HORN

大黒摩季

GENKIROCKETS
元気ロケッツ

つじあやの

カラーボトル

青山テルマ「忘れないよ」、GLAY「SAY YOUR DREAM」が
見本作品として公募サイトで視聴できる！

8月1日時点での映画祭へのエントリー楽曲数は120曲以上！ EMIミュージック・ジャパン、EPICレコードジャパン、キングレコード、ビクターエンタテインメント、ポニーキャニオンなど、レコードレーベルの枠を越えて、現在20社が多くの楽曲を提供します。
泉谷しげる、INORAN、大黒摩季、元気ロケッツ、JYONGRI、つじあやの、野宮真貴、LOVE PSYCHEDELICO、ほか、多くのアーティストが参加決定！

クリエイターへのメッセージ！！

私の作品は、ほぼ実話を元にしたものなので言葉が強く映像にするにあたり歌詞に沿えば楽だと思うのですが、ｲﾒｼﾞﾈｰｼｮﾝするには具体的な事実やリアルな言葉が多く想像の邪魔も多いと思います。それ故に、多種多様なクリエイターの皆さんが私の見たことのない新しい世界を見せてくれることをとても楽しみにしています。

～ Imagination Is Infinity ～ 大黒摩季

エントリー楽曲の詳細や公募詳細は、www.shortshorts.org

☆応募手順

①使用可能な楽曲は、http://www.shortshorts.orgにて試聴が可能。
CDもしくは、ダウンロードサイトにて使用楽曲を入手

②エントリー楽曲の総尺の1/3以上を使用した10分以内の映像作品を制作
※エントリー楽曲以外の楽曲は自由。ただし使用著作に関しては製作者の責任。

③2009年8月1日(月)～2010年1月30日(土)までにショートショート フィルムフェスティバル & アジア宛に応募作品を送付

☆賞、副賞

2010年6月の映画祭で発表されるミュージックShortクリエイティブ部門の優秀賞受賞作品には、賞金60万円に加えて、副賞としてフェイス・ワンダワークスのCM制作および、さらなるミュージックShort作品の海外での撮影の機会を与える20万円相当旅行券の贈呈が予定されており、クリエイターに更なる飛躍のチャンスを提供します。

☆公募に関する公式HP

(パソコン版URL): http://www.shortshorts.org
(モバイル版URL):http://www.giga.co.jp/sp/ssff

「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」について www.shortshorts.org
米国アカデミー賞公認　日本発アジア最大級の国際短編映画祭。
1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、有名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、これまで700本以上にも及ぶ作品が、世界50以上の国や地域から日本に紹介されています。
2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。年々規模が大きくなる本映画祭は、現在ではアジア最大級、日本で唯一の米国アカデミー賞公認短編映画祭として、明日の映像文化を担う若手映像作家、監督たちの世界へつながるゲートウエイを創出しています。

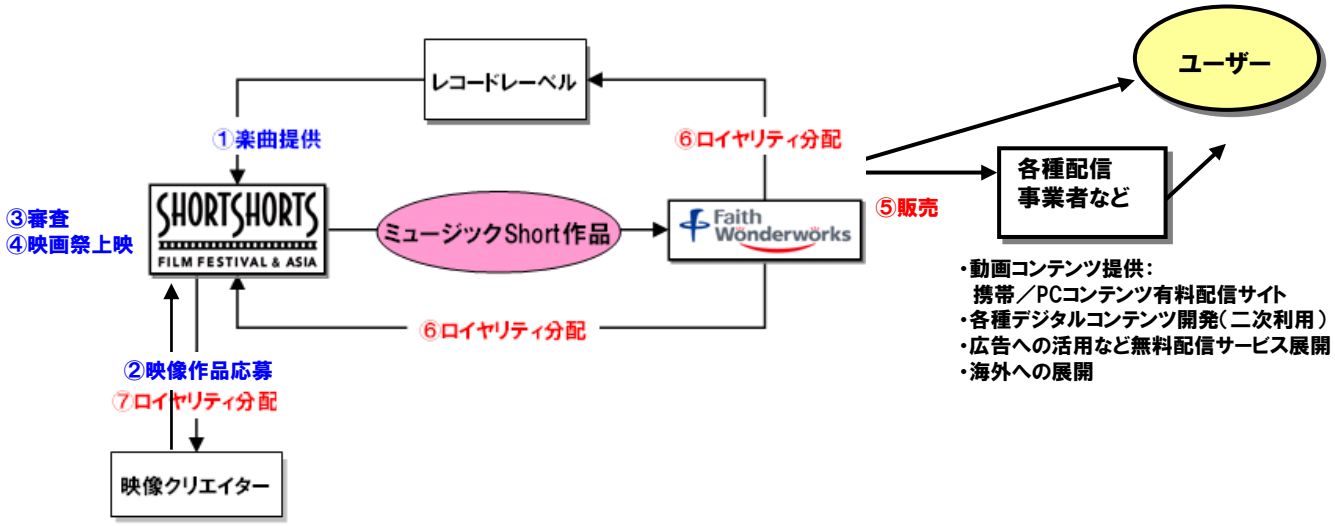
株式会社フェイス・ワンダワークスについて　http://www.faith-wonderworks.co.jp/
フェイス・ワンダワークスは、エンターテインメント・コンテンツの企画・開発・配信の「ギガネットワークス株式会社」と、映画・映像の企画・プロデュース・製作・宣伝の「株式会社デスペラード」の経営統合により、2009年4月1日発足いたしました。これまで両社が培ってきた約300万人におよぶ携帯サイト運営と、映像ビジネスにおけるノウハウを結集し、「喜び！」と「感動！」をもたらす新しいライフスタイルを提案する企業を目指します。

本件に関するお問合せ:ショートショートフィルムフェスティバル (http://www.shortshorts.org)
TEL. 03-5214-1233　FAX. 03-5214-1956　担当:諏訪／斉藤(kei@shortshorts.org/fuyumi@shortshorts.org)

【別紙】

参加アーティスト

20社以上から、以下61組のアーティストによる120曲以上の楽曲エントリーが決定しており、
今後も随時、参加レーベルおよびアーティストが追加される予定です。　（以下50音順）

青山伸也、	木内健	シュリスペイロフ	西脇唯
Lee Sang Eun（イ・サンウン）	区 麗情	JYONGRI	野宮真貴
泉谷しげる	元気ロケッツ	SLY TRIBES	PAITITI
INORAN	KONISHIKI	千田真友美	浜野絵美
IWAO	Saitone	外間隆史	バミューダ★バガボンド
ウスペラーズ	坂上弘	タカオカアツシ	Floor on the inteligence
Wooderd Chiarie	笹川美和	竹内電気	細川ひとみ
佑多田三斗	sun's market	種ともこ	Hermin（ホ・ミン）
ウミネコサウンズ	THE JETZEJOHNSON	着 MO	マルカート
8bit Project	THE JIZZ MONKS	つしまみれ	山本浩司
大黒摩季	THE BACK HORN	つじあやの	梁 邦彦
ORIGA	柴田淳	トベタ・バジュン	LOVE PSYCHEDELICO
オトナモード	JaccaPop	2＋1（Two plus One）	Lil'
カサリンチュ	JAM Project	ナオミール	LAZYgunsBRISKY
カラーボトル	SHUUBI	Nerddelic Studio Works	渡邊奈央
			渡辺等

事業スキーム図